平成 26 年 3 月 13 日

各　位

会 社 名　　大 阪 瓦 斯 株 式 会 社
代表者名　　代表取締役社長　尾崎　裕
（コード：9532 東証、名証一部）
問合せ先　　広 報 部 長　小 西 池　透
（TEL　06－6205－4515）

大阪ガスグループ 中期経営計画
「Catalyze Our Dreams」

大阪ガス株式会社（社長：尾崎 裕）は、このたび、長期経営ビジョンを実現するための、2014（平成 26）年度から 2016（平成 28）年度までの 3 ヵ年を対象とする中期経営計画である「Catalyze Our Dreams」を策定しました。

１．「Catalyze Our Dreams」の考え方

長期経営ビジョン「Field of Dreams 2020」で示した①ビジネスフィールドの拡大と、②強靭な事業ポートフォリオの確立の実現に向け、経営環境の変化を踏まえ、取り組みを加速いたします。

これからの 3 年間で、今後の電力・ガスシステム改革を見据えた「総合エネルギー事業」への進化を加速し、電力、海外エネルギー、材料ソリューションなど成長が期待される領域での事業拡大を進めていきます。これらの取り組みにより、競争力を高め、今後の経営環境の変化に対応していきます。

２．「Catalyze Our Dreams」における重点テーマ

「めざす姿」を実現するために、「近畿圏エネルギー事業の強化」「事業エリアの拡大」「新しい『事業の柱』の確立」に取り組んでまいります。

（１）近畿圏エネルギー事業の強化

大阪ガスグループのコアビジネスである近畿圏におけるエネルギー事業については、お客さまに選び続けていただくため、エネルギーを中心にお客さまの多様なご要望にお応えする「総合エネルギー事業」への進化に向けた取り組みを進めてまいります。

（２）エネルギー事業のエリア拡大

大阪ガスグループの持つ事業ノウハウを活用して国内外におけるエネルギービジネスの拡大を実現して参ります。

（３）次なる「事業の柱」の確立

海外におけるエネルギー事業や、ライフ＆ビジネスソリューション事業において、大阪ガスグループの持つ強みを活かし、成長市場での事業拡大に挑戦してまいります。

３．経営目標

グループの各事業を成長させるとともに、経営目標として以下の項目を掲げます。

① 資産効率、 資本効率の向上	長期的に連結ＲＯＡ4.5%程度、連結ＲＯＥ9%程度を目指して、 継続的に利益率向上に取り組む。 ［2016 年度には連結ＲＯＡ3.5%程度、連結ＲＯＥ8%程度を目指す。］
② 株主還元	安定配当の継続を基本に据えながら、業績、今後の経営計画等を踏まえ、他の利益還元策等を総合的に勘案して決定。 配当性向は、大阪ガス個別の剰余金分配可能額の範囲内で、 短期的な利益変動要因を除いて連結配当性向 30%以上を目指す。 ※成長のための事業投資を実施したうえで、 財務状況やキャッシュフローに余裕がある場合には、 機動的に自己株式取得も実施。
③ 財務健全性の 維持	「自己資本比率 50%以上」、 「Ｄ（有利子負債）／Ｅ（自己資本）比率 0.7 程度」を 中長期的に維持。

ＲＯＡ＝当期純利益÷総資産、ＲＯＥ＝当期純利益÷自己資本

【参考】連結売上高、連結総資産

	2013 年度見込	2016 年度	2020 年度
連結売上高	15,045 億円	16,900 億円	20,900 億円
連結総資産	16,277 億円	19,300 億円	21,800 億円

当社グループは、国内外の様々なフィールドでチャレンジを続け、従業員とともに成長し、本ビジョン・計画の実現を通じて、地球環境や、お客さまの快適な暮らしとビジネスの発展に貢献していきます。

以　上

※大阪ガスグループ　中期経営計画「Catalyze Our Dreams」の詳細は、添付資料をご覧ください。